奈良時代

名前

問1　飛鳥時代から奈良時代にかけて、現在の福岡県にあたる九州北部に設置され、大陸との交流の窓口や海岸線の警備を担った、「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれる役所を選びなさい。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 大宰府
2. 多賀城
3. 防人
4. 秋田城

問2　弥生時代から奈良時代にかけての歴史的推移をまとめた資料において、金印の授受、渡来人の活動、貨幣の鋳造に関する記述の組み合わせとして、歴史的事実に基づいているものはどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 渡来人がもたらしたインダス文字が金印に刻まれており、その文字を広く普及させるために富本銭や和同開珎などの貨幣が発行された。
2. 金印によって中国との外交を行い、後に渡来人から漢字や儒教などの文化が伝えられ、律令国家の形成期に富本銭や和同開珎が作られた。
3. 金印が授けられる前に富本銭が作られており、それらの貿易を支えるために渡来人が仏教を日本へ持ち込んだ。
4. 和同開珎が鋳造された後に、その技術を学んだ倭の王が中国へ渡り、漢の皇帝から金印を授けられた。

問3　日本の歴史の流れを整理した年表において、律令国家の成立期と院政の開始期の間に位置し、唐の長安を模した大規模な都市計画に基づいて建設された都について述べた文として、最も適切なものを選択しなさい。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 聖武天皇が仏教による国家の安定を願って、一時的に山城国に遷した都である。
2. 持統天皇によって建設された、中国の都を模した日本初の本格的な都城である。
3. 710年に元明天皇が藤原京から奈良に遷都し、律令政治の拠点とした。
4. 794年に桓武天皇が新しい政治を求めて、京都の地に建設した。

問4　奈良時代の仏教政策において、唐から鑑真が招かれた主な目的と、その後の影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗の教えによって国家の安泰を図るため
2. 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため
3. 困窮する人々のために橋の建設や社会事業を行い、民衆への布教を直接促すため
4. 真言宗の教えを広めることで、貴族だけでなく広く地方の武士にも信仰を浸透させるため

問5　大宝律令のもとでの地方支配の仕組みについて、中央から派遣された「国司」と、地方の豪族が任命された「郡司」の関係性や役割を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 国司は地方の豪族が自称してその土地を実効支配し、郡司は中央から派遣されてそれらの豪族を監視する役割を担った。
2. 国司は一生交代することなくその土地を治めることが認められ、郡司は都の役人が半年交代で各地方を巡回して務めた。
3. 国司は主に九州の沿岸警備や防衛といった軍事面を担当し、郡司は都で戸籍の作成や徴税計画の立案を行う実務を担当した。
4. 国司は中央政府から派遣された官吏で、一定の任期があった。一方、郡司はかつての有力な地方豪族が任命され、その地位は世襲されることが多かった。

問6　白村江の戦いでの敗北後、古代の日本が九州地方で整えた防衛や外交の体制について述べた文章として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）

1. 九州北部に大宰府を置き、防人や水城などを配置して東アジアの情勢に対応した。
2. 西日本の武士を動員して御家人とし、沿岸部に元寇防塁を築いて防備を固めた。
3. 九州南部に平城京を模した都市を築き、海外からの使者を迎える専用の拠点とした。
4. 陸奥国に鎮守府を置き、城柵を築いて東アジアの情勢に対応した。

問7　8世紀の奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものはどれか。なお、この時期の文化は、遣唐使がもたらした大陸の進んだ文化や、シルクロードを経由した西アジアなどの影響を強く受けている。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 聖武天皇の遺品を納めた正倉院に見られるような、国際色豊かな貴族文化
2. 遣唐使が廃止された後に発達した、日本の風土や生活に合わせた日本独自の文化
3. 平氏の時代に、日宋貿易によってもたらされた禅宗の影響が強い文化
4. 聖徳太子が厚く仏教を保護したことで興った、日本で最初の仏教文化

問8　奈良時代の税制では、田地に対して課される「租」のほか、17歳から65歳の男子に課される「調」、21歳から65歳の男子に課される「庸」などの重い負担がありました。こうした状況下で、政府が「墾田永年私財法」を制定した直接的な目的として最も適切な説明はどれか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 土地の私有を認めることで人々の開墾意欲を高め、不足していた田地を増やして税収を安定させるため。
2. 全ての土地を国家の管理下に置き直すことで、有力な貴族による土地の独占を防ぎ、公平な徴税を行うため。
3. 戸籍に基づいた土地の配分制度を強化し、6歳以上の男女に与えられる口分田の面積を全国一律に拡大するため
4. 地方の農民に土地を分け与えることで、都での労役や特産品の納入といった負担をすべて免除するため。

問9　奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集を選びなさい。この和歌集には、天皇や貴族の歌だけでなく、東国から九州の警備に派遣された防人（さきもり）や農民など、さまざまな階層の人々の歌が収められていることで知られています。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 懐風藻
2. 万葉集
3. 古今和歌集
4. 新古今和歌集

問10　古代日本が中国の王朝へ使節を派遣した主な目的のうち、律令国家の形成という観点から述べた背景として最も適切なものはどれですか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. 唐の進んだ律令制度を学び、天皇を中心とした法に基づく中央集権的な統治体制を構築するため。
2. 金印を授かることで、国内の有力な豪族を抑えて倭王としての地位を国際的に認めてもらうため。
3. 勘合符を用いた貿易によって、国内の寺院や神社を造営するための豊富な資金を確保するため。
4. 鉄資源を安定的に確保するために、朝鮮半島南部における権益を唐の皇帝に保障してもらうため。

問11　710年に現在の奈良県に遷都された平城京は、当時の東アジアにおいて強大な影響力を持っていたある国の都をモデルに設計されました。そのモデルとなった国の名前と、都の名称の正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 唐の洛陽
2. 唐の長安
3. 隋の長安
4. 隋の大興城

問12　奈良時代において、天平文化の特色を示す歴史書が編纂された背景や目的について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2015年 山口県公立入試 類似）

1. 地方の特産物や地理的状況、伝承を詳しく記録し、租税の徴収を効率化するため。
2. 仏教による鎮護国家の思想を広め、全国に国分寺を建立する正当性を与えるため。
3. 貴族や民衆の間で詠まれていた和歌を収集し、日本語独自の表現技法を確立するため。
4. 天皇による国内支配の正当性を、神話や伝承といった歴史的経緯をもとに内外に示すため。